



ご推薦のお願い

菊薫る候、貴団体各位には、益々ご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、私は、このたび平成二十六年一月施行予定の久留米市長選挙に立候補し、引き続き全力を傾注して久留米市の発展のために、市政運営に取り組んでいくことを決意しました。

つきましては、是非とも貴団体のご推薦を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

平成二十五年十月吉日

榎原利



小郡三井医師会

会長 蒲池 壽 様

経 歴 書

ならはら としのり
檜 原 利 則

一九四八年三月生まれ（六十五歳）

現住所

福岡県久留米市中央町三六番地十五

最終学歴

一九七一年 三月

西南学院大学卒業

職 歴

一九七一年 四月

久留米市役所入所

この間、環境部長、総務部長を歴任

二〇〇七年 四月

久留米市副市長に就任

二〇〇九年一二月

久留米市副市長を退職

二〇一〇年 二月

久留米市長に就任

現在に至る



皆さまのご支援をいただき市長に就任しまして4年目を迎えました。これまで、久留米市が、市民が誇りと愛着を持てる持続可能な地域社会であり続けるために、「人」・「安心」・「活力」の3つのキーワードを基本的視点に据え、「市民一人ひとりを大切にする市政 安心、活力に満ちた久留米」づくりを進めてまいりました。これからも久留米市が将来に向かって持続的に発展していくために、積極的に市政に取り組んでまいりますので、皆様のさらなるご支援とご協力をお願いします。

未来に向けたプロジェクト ～(仮称)久留米市総合都市プラザ～

「心豊かな市民生活の実現」、「広域的な求心力づくり」、「街なかの賑わい創出」を目的に、「賑わいと憩いが調和する『文化』・『活力』創造空間」という基本理念のもと、市民の皆様からのご意見にもしっかりと耳を傾けながら、平成27年度中のオープンに向け整備を進めています。

(仮称) 久留米市総合都市プラザ外観イメージパース



※これは全体のイメージを示すものであり、今後変更になる可能性があります。

この(仮称)久留米市総合都市プラザは、文化芸術振興の拠点、広域交流促進の拠点、六ツ門地区の商業拠点、賑わい交流の拠点といった他の公共施設には類を見ない施設であり、久留米市の将来を見据えた都市戦略の核となる施設です。市民の皆様が誇りと愛情を持って、心から喜んでいただける施設となるよう取り組んでいます。

～総合都市プラザは、こんな施設になる予定です～

- ▼メインホール(約1500席)、サブホール(約350席)、小劇場(約150席)としても利用できるリハーサル室や練習室、和室などを備え、多様な用途に利用できます。
- ▼快適性、機能性、デザイン性を追及した施設で、分割可能な展示室、会議室なども備え、多様なニーズに対応できます。
- ▼六角堂広場は、全天候型の「街なか広場」として生まれかわり、一角には、カフェ機能やキッズスペースを備えた空間を設けるなど、賑わいと憩いの場となります。

持続可能な健全財政の保持 ～行財政改革の積極的な推進～

将来にわたり持続可能な財政構造を確立するため、国庫補助金や財政的に有利な地方債の活用や、職員数の削減、アウトソーシングの推進などの行財政改革を積極的に進めています。

徹底した行財政改革の取り組みにより、健全財政の確立と今後の積極的な事業展開の両立を図っていきます。

	平成20年度末	平成23年度末
地方債残高 (臨時財政対策債を除く)	920億円 ⇒	855億円
基金残高	166億円 ⇒	232億円
内財政調整基金	17億円 ⇒	47億円
経常収支比率	95.4% ⇒	90.9%
実質公債費比率	5.8%	4.3%
職員数	1,910名 ⇒ (H21. 4. 1)	1,797名 (H25. 4. 1)

重点施策 ～このような「まちづくり」を進めています～

◎地域経済の浮揚 ～未来につながる積極型予算～

国の緊急経済対策に基づき、地域経済の浮揚へ向けた積極的な経済対策に取り組んでいます。市民生活に密着した公共事業をはじめ、農業振興、観光振興、地場中小企業への支援そして企業誘致など、久留米の未来につながる積極的予算のもと、切れ目のない経済対策を実行しています。



▲経済対策を活用して大規模改修・耐震化を進める学校施設

◎セーフコミュニティ ◎地域防災力の向上

～安全に安心して暮らせるまちづくり～

WHO（世界保健機構）が提唱する「セーフコミュニティ」認証に向けて、「交通安全」「自殺予防」などの6分野で重点的な取り組みを行っています。また、大規模な災害から市民の皆様を守り、被害を最小限に抑えるために、地域防災計画の見直し等、地域防災力の向上に努めています。



▲セーフコミュニティ認証事前審査の風景

◎キラリ輝く市民活動活性化補助金 ～市民との協働が見える街づくり～

これからのまちづくりには、行政のみだけでなく市民の皆様との協働を欠かすことはできません。平成24年度より、地域のために頑張っている市民の皆さんの活動にスポットをあて、応援するために「キラリ輝く市民活動活性化補助金」を創設しています。



▲補助金を活用した活動風景

◎定住促進事業 ～誰もが住みたいと思えるまちづくり～

誰もが住んでみたい、住み続けたいと思える街を目指して「久留米暮らし・ウェルカムキャンペーン」や「定住促進キャンペーン」などに取り組んでいます。住む魅力が溢れる街にするために、地域資源の磨き上げ、都市ブランド力の向上、そしてシティプロモーションの強化などに取り組んでいます。



▲久留米市のイメージキャラクター「くるっぱ」

◎子育て支援の充実 ～全国トップクラスの子育てしやすいまちを目指して～

九州の中核市、県内市ではトップクラスとなる乳幼児等医療費助成やハード、ソフト両面からの保育所待機児童ゼロへの体制づくりなど、子育て世代への支援を充実いたします。

また、確かな学力の定着化や教育環境の整備にも積極的に取り組んでいます。



▲子育て環境の充実を目指し整備した市立保育所